

「まなびの広場」は那須教育事務所ホームページに掲載されます。
http://www.pref.tochigi.lg.jp/system/desaki/desaki/nasu-kyouiku01.html

毎月第3日曜日は「家庭の日」

「那須地区ふれあい学習ネットワーク」特集

2月2日（金）に那須塩原市三島ホール・公民館において「しゃべってみっぺ！ 聞いてみっぺ！ ～どんな子供に育てたい？～」をテーマに「那須地区ふれあい学習ネットワーク兼地域教育コーディネーター養成研修」を開催しました。この研修会は、子供の教育を学校だけに委ねるのではなく、地域社会全体で子供たちを育てるために、学校・家庭・地域が、積極的に連携・協働できるように、お互いが共通理解を図り、共通行動がとれるようにすることを目的としています。当日は、那須地区の小・中学校の教職員や PTA 役員、地域活動実践者等を中心に、182名の参加をいただきました。

◆寸劇による問題提起



寸劇（問題提起）の様子

未来を担う子供たちを育てるために、地域と学校は、お互いの思いを理解し合っているでしょうか。地域や学校の様々な立場の方たちが、子供たちの未来を一緒に考える機会はあるでしょうか。今後は、地域と学校が目標やビジョンを共有して未来を担う子供たちを育てていくことが、さらに重要になってきます。では、目標やビジョンを共有するためには、どのような方法があるのか考えてみる必要があるのではないのでしょうか。

これらのことについて、那須地区ふれあい学習推進委員が寸劇を通して分かりやすく問題提起をしました。参加者からも「寸劇による問題提起は、とても分かりやすく効果的だった。」「子供たちのためにを合い言葉に、地域と学校が連携・協働して取り組んでいくことが大切だということがよく分かった。」などの声をいただき、大変好評でした。

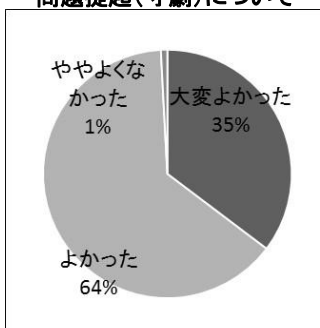
◆分科会での熱心な話し合い◆

問題提起後の分散会では、中学校区ごとの班編制で、地域と学校が目標やビジョンを共有するための手段の1つである、「熟議」の体験を行いました。「どんな子供に育てたい？」をテーマに、参加者同士が本音で話し合いました。研修会に御参加いただいた皆様には、地域と学校がパートナーとして連携・協働しながら、子供たちの成長を支え

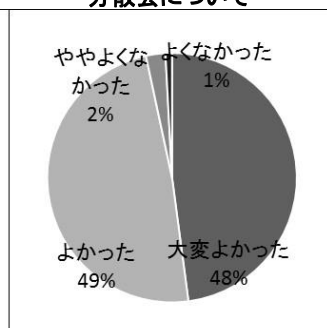


分科会の様子

問題提起(寸劇)について



分散会について



ていくことの大切さを実感していただけましたことと思います。この研修会でできたネットワークが基となり、地域の様々な力が結集し、学校の内外を問わず、子供たちの育ちを支える仕組みが、地域に定着するきっかけとなれば幸いです。